

科目名	データから見る大阪市大 (演習)	単位数	2	授業形態	演習	担当教員	平 知宏 (大教 特任)
英語表記	Seminar: Data Analysis of Osaka City University						

● 科目の主題

大阪市立大学では、教員のみならず学生もまた大学での教育改善の担い手として、位置づけられている。本授業では、大阪市立大学での教育の在り方について、具体的なデータに基づいて、学生の立場から見えてくるものについて議論・考察していくことを目的としている。また本演習では、受講生が主体となって、簡易な調査立案のもと、大阪市大に関するデータ収集を行うことを予定している。

● 授業の到達目標

受講生が自分なりに「大阪市立大学で学ぶとはどういうことか」「大阪市立大学では何を学んでいるのか」という問いに対し答えを出し、更には大阪市立大学での教育について、学生の立場から意見を提案できるようになることを目標としている。また、基本的なアンケート調査実施を通して、調査計画の立案と実施までの基本的な流れを理解することも目標としている。

● 授業内容・授業計画

授業の進行の目安は以下のとおりであるが、受講人数、調査の進行状況等に応じて、適宜スケジュール調整を行うことがある。

- 01 回：初回ガイダンス
- 02 回：学生から見た「大阪市大」像についての議論 (1)
- 03 回：学生から見た「大阪市大」像についての議論 (2)
- 04 回：学生から見た「大阪市大」像についての議論 (3)
- 05 回：中間発表、中間レポート提出
- 06 回：「大阪市大」像把握のための準備作業
予備調査立案 (1)
- 07 回：「大阪市大」像把握のための準備作業
予備調査立案 (2)

08 回：予備調査の実施と結果解釈、および本調査計画と実施 (1)

09 回：予備調査の実施と結果解釈、および本調査計画と実施 (2)

10 回：予備調査の実施と結果解釈、および本調査計画と実施 (3)

11 回：予備調査の実施と結果解釈、および本調査計画と実施 (4)

12 回：本調査の実施と解釈、議論 (1)

13 回：本調査の実施と解釈、議論 (2)

14 回：本調査の実施と解釈、議論 (3)

15 回：成果発表、議論、最終レポート提出

● 事前・事後学習の内容

本授業では、学生から見た「大阪市立大学」像を議論するために必要となる資料や文献を、あらかじめ読み解いた上で、授業に参加することが求められることがある。各学生の資料・文献に関する理解については、適宜資料としてまとめた上で、授業内時間内で発表の上、自分以外の学生にも理解できる形でアウトプットする必要があるため、各回前に担当教員から伝えられる事前学習の内容についてしっかり把握しておくこと。

また事後学習として、授業で学習した内容に基づいた新たな情報収集や調査計画等を立てる等、学生自らが動く必要があるため、各回後に担当教員から伝えられる事前学習の内容についてしっかり把握しておくこと。

● 評価方法

平常点 (30%)

毎回の授業への積極的な参加 (態度・行動)、および授業内での課題・提出物等の作成と提出をもとに評価を行う。

中間発表・レポート (30%)

最終成果発表・レポート (40%)

中間発表時、および最終成果発表への参加、お

よびレポートの提出とその内容をもとに評価を行う。

● 受講生へのコメント

受講希望者は、初回授業に必ず参加するようにすること。講義の進め方や本授業専用 Web ページへのアクセス方法、成績評価などについての簡易な説明を行う。

また本演習では、基本的なオフィスソフトウェア（Word, Excel, PowerPoint 等）の使用が前提となる。PC に関する基本的な作業・操作法については適宜サポートする予定であるが、自ら積極的に作業する姿勢が必要となることに留意されたい。

● 教材

教材や文献、資料については、全て授業内で配布するため、特に事前に準備するもの等はない。また本授業専用 Web ページを通じて、授業内外で活用できる参考文献や資料等は、すべて配信・伝達する予定である。